

平成 26 年度

# 施設評価調書

施設の名称……中央公民館

所管担当課……教育委員会生涯学習課

平成 26 年 7 月

## 設置目的の達成度

### 1 計画(Plan)と実績(Do)

設置目的	社会教育法第 20 条の目的を達成するため 第 20 条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。					
運営事業名	H24 年値	H25 年目標値	H25 年実績値	対前年比	目標達成率	評価
① 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	20 人	300 人	270 人	1350%	90.0%	B
② 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	18,417 人	18,420 人	18,953 人	102.91%	102.89%	A
設置目的に対する総合評価						
目的達成度の 評価基準	① 参加者数*実施数（複数講座がある場合は全講座の合計） ② 利用者合計人数 評価：目標達成率 A100%以上、B100%未満 80%以上、C80%未満 60%以上、D60%未満 40%以上、E40%未満					

### 2 現状分析(Check)

運営事業の 意義と現状	① 市の厳しい財政状況の中、限られた予算内で公民館講座を企画している。中央公民館講座として開催している「親子和菓子づくり教室」については、初年度（23 年度）と次年度（24 年度）は親子向けを年 1 回開催した。昨年度から計画していた成人向けの和菓子づくり教室を引き続き計画したもの、実行は来年度に持ち越した。 ② 公民館の総利用者数については、23 年度に実施した東日本大震災後の利用制限体制をとらず、通常体制で運営する中、利用者数が前年度比 500 名増となった。教委主催の講座が前年度と同規模あった為、一般利用者数が増加している結果となった。
上記の原因	① 23 年度より市民からの要望に応えるかたちで実現した「親子和菓子づくり教室」であるが、24 年度は成人向けの教室を検討していたものの実現には至らなかった。25 年度も一般向けの講座として計画していたが、調整がつかず「親子和菓子づくり教室」のみの開催となった。 ② 市内の人口減少や高齢化も進行している中、公民館の利用も高齢者が多い。また、活動団体の新規会員の確保も難しい状況である。これにより各団体の活動が低迷しつつあり、公民館の利用者数が伸びない原因の一つであると考えられる。

### 3 次年度以降への改善点(Action)

具体的な 改善方策	・今年度も引き続き「親子和菓子づくり教室」、「一般向けの和菓子作り教室」の両方を検討する。また新規講座を開設し、3 年程度を目途に教委主催の講座から自主的な活動につなげられるよう、講座関係者を育成・支援し、受講者の拡大及び公民館活動の活性化を図る。 ・公民館講座の周知・広報を強化し、公民館活動の情報提供・啓発に取り組み、公民館活動の活性化を図る。 ・利用者や受講者へのアンケートから、市民ニーズを把握し、今後の在り方、市の方向性を見出していきたい。 ・講師不足が課題であり、講師を担える人材の発掘、育成に取り組んでいきたい。		
H26 年度運営 事業と目標値	運営事業名	H26 年度目標値	備考
	①□ 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	80 人	開催予定講座総定員数
	③ 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	18,960 人	前年度維持 18,953≒18,960 人

平成 26 年度

施設名（愛称名） 下田市立中央公民館

番号 26

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価

運 営 事 業 名	H 年度	H 年度	H 年度	H 年度
総合評価				
	平成 23 年度より（平成 23 年 7 月調書）開始のためデータ無し。			

平成 26 年度
----------

施設名（愛称名）	下田市立中央公民館
----------	-----------

番号	26
----	----

## 効 率 性

### 1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H24 年度値	H25 年目標値	H25 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	18,417 人	18,420 人	18,953 人	102.91%	102.89%
	B 年間経費 (除く収入) 経費+市職人件費	4,080,802 円	—	3,488,919 円	85.80%	—
	B/A	222 円/人	180 円/人	184 円/人	82.88%	101.12%
②	光熱水費	1,843,808 円	1,752,000 円	998,927 円	173.50%	175.39%
③	消耗品費	159,408 円	151,000 円	119,290 円	94.83%	126.58%
効率性指標の考え方等		A 利用者数：公民館利用者人数 B 年間経費：市の経費総額と事務に係る人件費（職員人件費÷職員数）*1/20 人工				

### 2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	施設総利用者数は前年度（24 年度）比で約 500 名増加した。年間経費も前年度並みに抑えられている。光熱水費については、教委事務所と折半した関係で、前年度に比べ大幅に縮小されている。光熱水費、消耗品費共に、節約意識の定着により、上記の数値が得られたと考えている。
----------------	--

### 3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	光熱水費の削減に向け、節電・節約に取り組み、利用者への声掛け等の協力依頼や掲示物等により節電・節約の周知徹底を図る。		
H26 年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B/A	180 円/人	前々年度実績維持 184 円/人≒180 円/人
	②光熱水費	948,000 円	前年度実績の 5%削減 948,981 円≒948,000 円
	③消耗品費	113,000 円	前年度実績の 5%削減 113,326 円≒113,000 円

### ※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H21 年度決算	H22 年度決算	H23 年度決算	H24 年度決算
①利用単位当たり 経費	目標値（人）	26,700 人	26,700 人	26,700 人	26,700 人
	A 実績値	23,269 人	21,519 人	18,366 人	18,417 人
	B 実績値	4,145,057 円	4,649,456 円	3,519,349 円	3,380,036 円
	B/A	178.14 円/人	216.06 円/人	191.62 円/人	183.52 円/人
	対前年比（B/A）	103.94%	121.29%	88.68%	95.77%
	目標達成率（人）	87.15%	80.60%	87.1%	68.97%
③ 熱水費	目標値	2,013,000 円	2,013,000 円	1,578,000 円	1,646,542 円
	実績値	1,700,705 円	1,856,581 円	1,733,203 円	1,843,808 円
	対前年比	80.22%	109.17%	93.35%	106.38%
	目標達成率	84.49%	92.23%	109.84%	89.30%
④ 耗品費	目標値	252,000 円	252,000 円	113,000 円	113,000 円
	実績値	124,309 円	112,765 円	240,509 円	159,408 円
	対前年比	60.85%	90.71%	213.28%	66.27%
	目標達成率	49.33%	44.75%	212.84%	70.89%

平成 26 年度
----------

施設名（愛称名）	下田市立中央公民館
----------	-----------

番号	26
----	----

#### 4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単位	H23 年度	H24 年度	H25 年度
	①有料部分の 年間経費	使用料等を徴収する部分 の年間経費	円	4,223,729	4,080,802	3,488,919
	②受益者負担 額	施設の本来の目的による 使用料等の年間総額	円	704,380	700,000	705,200
	③受益者負担 比率	②÷①	%	16.68	17.15	20.21
	④補正受益者 負担額	減免者より正規の料金を 徴収したと仮定した場合 の受益者負担額	円	2,455,000	2,643,000	2,824,000
	⑤補正受益者 負担比率	④÷①	%	58.12	64.77	80.94

運営に掛か る税負担 (市民負担)	年度		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度(予算)
	人口（4月1日：人）		24,881	24,515	23,864	—
	人口 1 人あ たり(円/人)	運営経費（収入除く）	141	138	112	—
		年間総経費	287	286	264	—

平成 26 年度

施設名（愛称名） 下田市立中央公民館

番号 26

### 利用者満足度調査

※アンケート実施無し。但し、予約受付時、使用后、館長会議等にて、意見聴取している。

### 施設修繕計画及び備品購入計画

破損年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考（修繕済年度等）
25	照明器具安定器交換、非常用バッテリー交換	51,240	25	
25	屋上キュービクル塗装修繕	107,625	25	教育委員会事務所と折半
25	管理人室照明器具修繕	3,832	25	
25	調理室床修繕	346,500	25	
25	フェンス修繕	307,125	25	教育委員会事務所と折半

※今後想定される維持管理事項  
大規模な改修を要する。  
改修ブロック塀修繕、屋上雨漏り修繕、空調設備修繕

平成 26 年度	施設名 (愛称名)	下田市立中央公民館	番号	26
----------	-----------	-----------	----	----

### 管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性	市の総合計画における公民館統廃合事業として、市内 8 公民館（北湯ヶ野、椎原公民館の廃止、及び地元区への譲渡）の中央公民館 1 館への統廃合を進めており、中央公民館は、将来的に下田市の実情に見合う生涯学習施設の拠点として存続させるものである。
民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	社会教育法に基づく公民館として、行政関与は妥当である。また、建物の規模、老朽化・劣化も著しく修繕の必要度が高く修繕費が嵩む中で、利益を追求しないという施設の性質からも、民間による管理運営は難しい。貸館窓口業務については、民間の可能性もあるが、公民館講座事業等の運営等もあり、行政の管理運営が妥当である。
施設の管理運営と経費の妥当性	築 25 年と建物の老朽化・劣化が著しく、修繕の必要度が年々増す中で、市の厳しい財政状況の中、可能な限り、必要最低限、使用に耐え得るまでに修繕を施し運営している状況にある。また、備品の劣化等利用者には不便をきたしている中で、緊急を要するものから順に対応し、必要最低限の経費で運営している状況にある。
施設の性質や実費経費からみた 受益者負担の妥当性	使用者層の固定化傾向がみられる。市内の人口減少や高齢化の進行も重なり、使用者数が伸びない状況に加えて年々施設の老朽化も進んでいる。受益者負担の原則の観点から、維持管理費に見合う使用料収入を見込んだ受益者負担を使用者に求めることは、使用の衰退等を招く原因になりうると考えられる。施設の性質を念頭に、施設にとっての受益者負担の適正化を、市内各地域の公民館ごとの規模の格差、建設時からの経過により地域ごとに異なる使用形態を踏まえ、また類似施設との整合性を図りながら検討し、定期的に妥当性を見直し改善していくことが必要である。
その他の管理運営上の課題	施設の老朽化・劣化が著しく、大規模な改修を必要とし、統廃合により将来的に市の生涯学習施設の拠点として、中央公民館としての在り方、果たすべき役割について検討することが課題である。
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	県中東部内では、公民館廃止、代替施設として生涯学習センターの設置・整備等が顕著である。県西部地域は社会教育法による公民館を設置している自治体が多いが、県中東部内で見ると当市は公民館設置が多いといえる。

### 平成 25 年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項
① 公民館活動推進事業 (講座企画運営事業)	「親子和菓子づくり教室」「山登り講座」を開催し、74名の参加があった。	市民ニーズを反映した幅広い対象の講座を企画し、講座の募集から実施後の報告や広報活動等の情報発信を強化することで、受講者のみでなく、社会教育関係団体、ボランティア活動団体等の公民館活動の啓発や活動の活性化を図り、公民館活動を地域に広げる。
② 公民館活動推進事業 (会議室貸出事業)	1,631回、18,953人の利用があった。	

平成 26 年度

施設名 (愛称名) 下田市立中央公民館

番号 26

**施設の概要**

1 施設名 (愛称名)	下田市立中央公民館		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係						
3 所在地	下田市 4 丁目 6 番 16 号		4 設置年月	昭和 63 年 4 月 1 日						
5 総合計画の位置付け	Ⅱ 人が輝くまちづくり		(1) 自ら学ぶ人づくり		生涯学習					
	基本目標		いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。							
	基本目標を実現するための施策		項目 ・ 公民館講座 ・ 公民館統廃合		内容 ・ 公民館講座の開設 ・ 地域の実情に見合った公民館の再編を図ります。					
6 設置目的	社会教育法第 20 条の目的を達成するため 第 20 条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。									
7 設置根拠	下田市立公民館設置管理条例									
8 施設の概要	施設の概要		敷地面積 1,453.71 m <sup>2</sup> 建物面積 1,117.89 m <sup>2</sup> 構造 鉄筋コンクリート 2 階建て							
	実施事業の概要		・ 中央公民館講座の実施 ・ その他「社会教育法第 22 条 (公民館の事業)」に基づくもの							
	料金区分		会議室等使用料 多目的ホール兼大会議室・中会議室・小会議室・和室・調理室							
	主な料金		名称		午前 (9:00~12:00)		昼間 (13:00~17:00)		夜間 (18:00~21:00)	
					普通 入場料		普通 入場料		普通 入場料	
			多目的ホール兼大会議室		2,050 円 4,100 円		2,050 円 4,100 円		3,080 円 6,160 円	
		中会議室		1,020 円 2,050 円		1,020 円 2,050 円		2,050 円 4,100 円		
		小会議室		1,020 円 2,050 円		1,020 円 2,050 円		2,050 円 4,100 円		
		和室		1,020 円 2,050 円		1,020 円 2,050 円		2,050 円 4,100 円		
		調理室		2,050 円 -		2,050 円 -		3,080 円 -		
		減免内容		(使用料の免除) <b>第 10 条</b> 市長は、特に必要があると認めるときは、別表に定める使用料を減免することができる。 (1) 市の主催で使用するとき、又は国の機関若しくは地方公共団体が市と共催で使用するとき。(全額) (2) 公共的団体の主催で法第 20 条の目的に基づき住民のために使用するとき、又は市内の保育所、幼稚園若しくは小・中学校の主催で、園児、児童、若しくは生徒の教育のために使用するとき。(全額) (3) 公立小・中学校 (市内の公立小・中学校を除く。)若しくは公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用するとき、又は委員会が認めた社会教育関係団体の主催で、その目的が当該団体の設立目的のために使用するとき。(5 割減額) (4) 国の機関又は地方公共団体の主催で、その目的が公共のために使用するとき。(3 割減額) (5) 全各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。(3 割減額)						
		利用料金制度		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
施設運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営								
		<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →		指定管理者						

平成 26 年度

施設名 (愛称名) 下田市立中央公民館

番号 26

		<input type="checkbox"/> 一部委託 →	委託内容			
	直接従事職員	下田市職員数 館長 1 名 (生涯学習課長兼任) 常駐管理人 1 名				
9 市内の類似施設	下田市所有	他 8 公民館 (社会教育法の規定による施設)				
	民間所有	地区集会所等 (自治会管理の地域コミュニティ施設)				
10 取得費等の情報 (単位: 円)	取得費及び財源内訳		平成 25 年度末残高		(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価 1 円 ・ 新設翌年度から償却 ・ 耐用年数 50 年 ・ 建物経過年数 25 年	
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費	181,059 千円	建物減価償却後残高	90,530 千円		
	財源内訳					
	国・県支出金					
	市債		市債残高	0		
	一般財源					
	寄附金等					
	物品(*万円以上)		物品減価償却後残高			
	※中央公民館は県で保健所として使用していたものを、市で譲受け公民館として使用しているが、県より譲渡された当初の資料の所在が不明なため土地取得費等は不明。					
11 年間経費等推移 (単位: 円)	区 分		H23 年度決算	H24 年度決算	H25 年度決算	H26 年度予算 (6 公民館)
	収入		704,380	700,000	705,200	1,844,000
	収入合計		704,380	700,000	705,200	1,844,000
	支出	1 節 報酬	1,819	0	0	1,000,000
		7 節 賃金	424,700	424,700	424,700	1,699,000
		8 節 報償費	0	0	10,000	293,000
		9 節 旅費	3,536	2,145	6,356	57,000
		11 節 需用費	2,962,119	2,949,674	2,540,620	5,802,000
		消耗品費	240,509	159,408	119,290	359,000
		印刷製本費	0	0	0	21,000
		光熱水費	866,602	921,904	998,927	4,944,000
		下水道費	96,117	103,614	116,991	155,000
		燃料費	0	0	0	23,000
		修繕料	892,290	842,844	1,305,412	300,000
		12 節 役務費	324,257	142,567	38,635	565,000
		13 節 委託料	313,150	378,235	258,671	846,000
		14 節 使用料	32,955	32,832	31,658	157,000
		19 節 負担金	14,011	8,232	8,573	74,000
	支出合計		4,076,547	3,938,385	3,319,213	10,493,000
	減価償却費		3,621,180	3,621,180	3,259,062	9,487,300
	市債利子		0	0	0	0
	職員人件費		147,182	142,417	169,706	1,357,648
	下田市負担年間総経費		7,140,529	7,001,982	6,747,981	24,323,948
備考	○ 人件費は、1 公民館を 1/20 人工として、職員人件費平均から算出したもの ○ 事務に係る市職人件費=(職員人件費÷職員数)×1/20 人工×公民館数					
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用者数	H23 年度決算	H24 年度決算	H25 年度決算	H26 年度予算
		市内	18,366 人	18,417 人	18,953 人	18,960 人
		市外			人	人
		合計	18,366 人	18,417 人	18,953 人	18,960 人

平成 26 年度
----------

施設名（愛称名）	下田市立中央公民館
----------	-----------

番号	26
----	----

		参考：利用単位 当たり市負担額	388.79 円/人	380.19 円/人	332.19 円/人	338.11 円/人
			算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数			
	休館日	祝日、12/28 から 1/3 まで				
	使用 時間	午前 9 時から午後 9 時まで				